



## 経験（体験）することの大切さ



あなたのお子さんは、自分で洗濯やトイレ掃除ができますか？

家庭内での子どもへの声掛けは、「勉強しなさい」「ゲームを止めなさい」等が多く、「トイレ掃除をして」「洗濯物を畳んで」というような手伝いを促す声掛けは少ないのではないのでしょうか。

私たちが子どもの時（かなり以前のことになるのですが・・・）には、風呂を沸かす、洗濯物を取り込む、畳む、兄弟の面倒を見たりするなどの手伝いをよくしたものの（させられたもの？）です。当時は、子どもも家庭での大切な労働力でした。すべての家庭がそうではなかったかもしれませんが、多くの家庭がそうだったのではないのでしょうか。今は昔と違うのだと言われる方もいらっしゃるでしょうが、これらの手伝いから子どもが学ぶものがたくさんありました。

今では、洗濯機のボタン一つ押せば自動で衣類をきれいにしてくれます。でも、それまでに洗濯機に入れる衣類を仕分けたり、機械が止まった後は衣類を外に干す、取り込む、そして畳む等の作業があります。ボタン一つ押せば洗濯のすべての作業が終わるのではないのです。そのような作業をする中で、洗ったばかりの重たい衣類を物干し場まで運ばなくてはならないこと、また服や靴下が裏返しになったままのものは干す前に直さなくてはならないこと等、洗濯は大変な作業であることを学ぶことができるのです。

トイレ掃除も大変です。便器や床を拭き、便座カバーやスリッパを洗ったりしなくてはなりません。そうして、やっとトイレが気持ちよく使えるようになることを知ります。

洗濯もトイレ掃除も自分ですること、達成感を味わうことができます。そして、その大変さを知ることで、してくれる人への感謝の気持ちが芽生えます。

親の役割は、子どもに勉強をさせることも必要でしょうが、子どもは自分の好きなこと、興味のあること、面白いと思うものを見つければ自ら進んで勉強するようになるのだと思います。無理に押し付けても本物は身につきはしないのです。勉強については、本人の自主性に任せた方がよいように思います。

子どもには洗濯、トイレ掃除、料理、ボタンつけ等を経験させてみましょう。そのような作業をすることで身につく力が「生きる力」なのだと思います。将来、自立・独立する時に、掃除ができない、洗濯ができない、料理ができない、ボタンが付けられないようでは本当に困ってしまいます。できれば子どもが小さいうちから始めてみませんか。

そして、子どもができた時には「よくできたね」「すごいね」「やればできるじゃない」等と誉め言葉を与えることも忘れないようにしましょう。そのことにより、子どもはますます進んでやるようになります。そこに、子どもにとって大きな学びがあるのです。

親の大切な役割は、「生きる力」を身につけさせることなのです。

夏休みも残りが少なくなりました。子どもと一緒に、炊事や洗濯をしたり、トイレ掃除をしてみませんか。子どもも喜んで一緒にしてくれるのではないのでしょうか。